

平成27年度 第3回人権読本ぬくもり第3版検討委員会

議事次第

日時：平成28年2月10日（水）10:00～11:30

場所：教育委員会会議室

1 開会

2 議事

- (1) 小学校3／4年生版及び5／6年生版の活用状況について
- (2) 小学校1／2年生版の進捗状況について

3 今後の予定について

4 閉会

〈配付資料〉

- ・資料1 委員名簿
- ・資料2 人権読本ぬくもり第3版 検討委員会設置要綱
- ・資料3 平成27年度 人権教育進捗状況調査
- ・資料4 小学校1／2年生版の進捗状況について

人権読本ぬくもり第3版検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、人権読本ぬくもり第3版検討委員会（以下「検討委員会」という。）の設置並びに任務及びこれを達成するため必要となる明確な範囲の所掌事務を定めるとともに、その所掌する事務を能率的に遂行するため必要な組織を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 福岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に検討委員会を置く。

(所掌事務)

第3条 検討委員会は、児童生徒の人権感覚を高め、様々な人権問題に取り組もうとする実践的な行動力を育成するため、教育委員会の諮問に応じて、人権読本ぬくもり改訂版（以下「改訂版」という。）小学校1年生、改訂版小学校2年生、改訂版小学校3・4年生、改訂版小学校5年生、改訂版小学校6年生及び改訂版中学校（以下「改訂各版」という。）を再訂することについて協議し、並びに改訂各版の再訂案（以下「再訂案」という。）及び再訂に関し必要と認める事項を教育委員会に建議する。

(組織)

第4条 検討委員会は、委員14人以内で組織する。

2 検討委員会に、特別の事項を協議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

3 第1項に規定する委員及び前項に規定する臨時委員の合計は、20名以内とする。

(委員等の任命)

第5条 委員及び臨時委員は、学識経験のある者、人権問題に精通する者、福岡市立学校教職員又は教育委員会事務局職員のうちから、教育委員会が委嘱する。

(委員の任期等)

第6条 委員の任期は、委嘱の日から翌年3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

3 臨時委員は、その者の委嘱に係る当該特別の事項に関する協議が終了したときは、解任されるものとする。

(委員長)

第7条 検討委員会に、委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、検討委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

(資料の提出等の要求)

第8条 検討委員会は、その所掌事務を遂行するために必要があると認めるときは、教育委員会に対し、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第9条 検討委員会の庶務は、教育委員会教育支援部教育支援課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他検討委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

(任期の特例)

第2条 この要綱の施行の後最初に任命される第5条に規定する委員及び臨時委員の任期は、第6条第1項の規定にかかわらず、その委嘱の日からその後最初の3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成27年度 人権教育進捗状況調査
(小学校における人権読本「ぬくもり」第3版の活用状況関連)

1 調査日程

10月15日(木)照会, 10月26日(月)締切

2 調査対象

(1) 学校種

全小学校

(2) ぬくもり(第3版)

3・4年生及び5・6年生上, 下

3 調査結果統計

(1) 教育課程への位置づけ (複数回答) (校)

位置づけていない	道徳	総合	社会	特活	その他	合計
0	141	44	69	14	0	268

(2) 活用状況 (校)

	3・4年版	5・6年版
活用	142	142
不活用	0	0
合計	142	142

(3) 活用回数 (校)

3回/年以上	2回/年以上	1回/年程度	合計
101	38	3	142

(4) 部落問題学習及び賤称語指導への活用 (校)

部落問題学習に活用	賤称語指導に活用	両方に活用	合計	活用率
34	43	18	59	41.3%

(5) 自由記述欄への記載 (校)

記載あり	記載なし	合計	記載率
126	16	142	88.7%

4 自由記述抜粋

(1) 児童への指導関係

- ① **身近な題材であることよさ**
- 子ども達にとって身近な内容の教材が多いので、子どもはぬくもりの内容と自分たちの生活とを結び付けて考える学習ができた。
 - 登場人物の発言や行動が、今の生活と照らし合わせて児童に身近に感じられるもので、自分のこととして考えやすい。
 - 資料が事実に基づいているため、児童の興味や関心の度合いも高い。
- ② **その他のよさ**
- 平易な文章で、文字数もちょうど良い。児童にとって、場面把握がしやすいので理解が深まる。
 - たいへん分かりやすく記述されている（写真・絵の掲載が的確）。児童も、学習の中で資料の感想や自分の考えを積極的に述べている。
 - 全体的に、子ども達が生き方を考えられるように工夫されている。
 - 教科書では拾いきれない内容が教材になっており大変役立っている。
- ③ **方言について**
- 遠方からの転入生にとっては、方言が分からず内容を捉えるのが難しい場合がある。
 - 福岡の方言や写真などで親近感が湧きよかった。
- ④ **配慮事項等**
- ぬくもりを活用した授業も1度だけでは定着しないので、関連した作品や説話などを現場において補う必要がある。
 - 学校の実態として、韓国籍・中国籍の子どもが複数在籍するため、配慮を要する教材がある。

(2) 題材関係

- ① **使い易い点**
- 福岡ならではの題材が多く、他の副読本と違って親しみやすい。
 - 近年取り沙汰されている情報モラルや性同一性障がい等の、新たな人権課題を扱っている点が良い。
 - H I V感染者に対する差別、女性差別、障がい者差別問題、人尊協の話題等様々な差別についての題材が選ばれており、45分間の授業で用いたりトピック的に用いたりでき、また、まとまりがあって良い教材が多い。
 - 社会科の副教材としての活用や道徳の学習に適した教材である。
 - 福岡市の人権8課題にも対応しているため良いと思う。
- ② **使いづらい点**
- 「なかま」の観点の題材は、子ども達にとって身近でないものがあり使いにくい。
 - 文章の中に「〇年生」と書いてある内容は、他学年では少し扱いづらいと思うことがあった。

③ 題材別の意見

(7) 3・4年生用

- 「火の海をにげて」
 - ・ 平和学習を行った。福岡の街で起きたことを取り上げて考えることができるので、身近なこととして実践できた。
 - ・ 子ども達にわかりやすくで良いと思う。平和学習にとっても有効である。
- 「とべたおおなわ」
 - ・ 実践後、友達がうまくいかないときも寛容になった。
 - ・ 授業研を行った。その協議会の中で、中学年という発達段階に応じた教材であるという意見が出ていた。
- 「まちがっていない」
 - ・ ガイジ発言の指導ができる教材で昨年度は4年生が、人権教育の全研授業に取り組んだ。
- 「いのちからのメッセージ」, 「わたしの仕事」
 - ・ この題材で学習をしたが身近な内容で挿絵もありわかりやすかった。
- 「ぼくのいいところ」
 - ・ 自分では気付かない自分のよさを友達から見つけてもらうことで、自尊心を高めることができた。また、自分のことを見てくれている友達の大切さを感じることができた。
- 「歩いてみよう, さわってみよう, 話してみよう」
 - ・ 総合的な学習の導入の資料としてとても有効であった。
- 「夢に向かって」
 - ・ 「ゲームソフトをつくる人たち」ではないほうがいいかと思う。ゲームは子どもにとってなじみが深く反応が良いが、ゲームでの遊びを推奨するようで使いにくい。
- 「地域ウォッチング」
 - ・ 社会科, 総合的な学習の時間で1学期に使った。自分たちに地図作りに関心を持つことができて良かった。他の教材もとてもよいものと思うが、3年生には少し難しいかも。

(1) 5・6年生用

- 「言葉について考える」
 - ・ 5年で「ガイジ」の指導をするとき活用したが、とてもわかりやすくて良かった。
- 「よき日のために」
 - ・ 6年歴史授業研において、この教材を使って社会科学習指導を行った。「エタ」という賤称語の指導も行い、講師の前田博文校長からは、この教材に取り組んだ価値、子どもの考えの良さ、学習プリントを改善して財産として残すべきことなどの講評や、資料が多いので精選すること、学習のまとめ方等の課題も指摘を受けた。若手職員にも賤称語の指導の在り方について研修できて、大変意義のある授業研究ができた。
- 「鳴らないスマホ」
 - ・ スマホやネットのモラルについての資料が、児童の現状に即した形で掲載されており、より実感を伴う学習活動が可能になった。
- 「長崎がピカッ」
 - ・ 修学旅行前の道徳の時間に活用することで、今も長崎では原爆の被害に苦しんでいる人がいることが子ども達によく伝わった。

(3) 指導資料について

- ・ どの教科・領域で活用するかが明らかになっているので、使い易い。
- ・ 指導例も併せて提示されているので、自分の学級の実態に合わせてアレンジして活用することができるので助かっている。
- ・ 研究と指導（指導書）に指導案が掲載されており、授業の準備がしやすい。しかし、ねらいと「自分の生活の振り返り」や「終末」に提示されている内容にずれを感じる。

(4) 研修資料として

① 総論

- ・ 現代を取り巻く人権問題が多く扱われていることで、教師の意識も高まる。
- ・ 職員研修でぬくもりの教材を読み合う研修を行ったことにより、他学年の教材についても知り、活用の幅が広がった。
- ・ 昨年初版本と第2版を廃棄したため、これまで活用していた題材を使用できなくなった。新しい題材を開発したり、第3版について研修を深めたりする必要があると思われる。本校においては、第3版編集に携わった教員を講師に招いて活用の研修を予定している。
- ・ 学習でぬくもりを使用する際、事前に学年で題材を基に展開を話し合ったり、子どもの反応を交流したりしている。担任の年齢が20代、30代、50代と離れている中でこういった交流ができることは、よいきっかけとなっている。
- ・ 重みのある内容が多いので、取り扱うかどうか学校で慎重に考える必要がある（職員研修の必要がある）。

② 5・6年生用

○ 「ありのままの自分」

- ・ C研でセクシャルマイノリティについての研修として使った。有効だった。
- ・ B研では、執筆協力者を校内人権教育研修講師として招聘し、充実した研修になった。

○ 「よき日のために」

- ・ 6年生についてはより踏み込んだ内容なので、全学年で内容を検討した。人権教育を全体で考えるきっかけとなった。
- ・ 5・6年生版にこの題材が掲載された意味や価値を全職員に丁寧に伝えていく必要がある。

③ 保護者への紹介

- ・ H26の人権学習参観・懇談会において保護者に紹介し、学校の人権教育の取組について知ってもらうことができた。

(5) その他

- | |
|---|
| <p>① 製本, 挿絵, 写真等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が多いので活用しやすく, 子ども達がイメージしやすい。 ・第2版は製本が悪くページがどんどん外れていたが, 第3版は現在のところそのようなことがない。(数校が同旨) ・色彩も文字も見やすく美しくなっているので, 今まで以上に使い易い。 ・イラストなどは子ども達にとって大事で, 提示した際の反応が良い。 ・薄くなったので, 持ち運びが便利になった。 <p>② 配布数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊数が少なく学年40部なので, 40人以上いるクラスは足りない。 ・全児童配布を強く希望します。5クラスで1クラス分では「福岡市が作った人権読本」としていかなものか。 <p>③ 掲載されなかった題材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「たから子」の作品を社会科「工業」に使えないのが残念である。 ・3年生の総合「韓国 簡単な遊び」を身近に使っていたのに, 資料が残っていない。 ・前回までのぬくもりに載っていた教材にも使いたいものがあった(例えば6年「学校へかける思い」など)。 ・前回までのぬくもりにあったような沖縄に関する内容があると, 平和学習の取組で活かすことができる。 ・「街に出た音楽家たち」は残してほしいと思った。 ・平和に関する内容が少なくなっている。6.19, 8.6以外の幅広い内容の教材があればと感じた。 ・全冊廃棄済みのぬくもりにも使い易い教材があったので残念という声と, 教科書も数年ごとに改訂が行われ旧版を使うことはないので, 今の時代に合った新しいものを使うべきという声の両方がある。 |
|---|

5 人権読本「ぬくもり」の活用状況調査の概要(予定)

- (1) 調査日程(毎年定例調査)
 - 2月中旬照会, 3月10頃締切
- (2) 調査対象
 - 全小中学校
- (3) アンケート項目
 - ① 活用状況(定例事項)
 - ・学年, 学級ごと
 - ・題材ごと
 - ・活用の仕方(主たる教材か補助教材か, 教科設定, 公開授業での活用)
 - ② 配布冊数について(小学校のみ今年度追加)
 - ・過不足, 不足の場合その状況
 - ・自由記述
 - ③ 職員研修での活用状況(小学校のみ今年度追加)

小学校1 / 2年生版の進捗状況について

1 第2回検討委員会で指摘された事項

No.	タイトル	指摘事項	対応状況	備考
1	1の2ルール	装具強調	対応済	
		文章が長い	対応済	
2	みんなでいっしょに	話ができすぎている	対応済	
		文章が長い	対応済	
		ひろしががんばっている客観的な描写	対応済	
3	すきなものおしえて	”すきなもの”が多すぎる	対応済	
4	ぞうのもん	最後の3行は削除	対応済	
5	てをあらおう	どこが人権課題が不明	対応済	解説で手を洗えない状況の子どもがいることを紹介
6	わたしたちのクラス	問題は国籍ではなく容貌	対応済	
		肌の色に差をつける	対応済	
		左利きの子どもを入れる	対応済	
7	たべもののひみつ	アレルギー、宗教上の理由で食べることができないことは、まずありきの問題	対応済	
		給食の写真はおいしそうなアングルで	対応済	
		3大栄養素の順序を教科書通りに変更	対応済	
8	へいわってなんだろう	写真差し替え	対応済	同一場所、同一アングルの写真はみつからなかったため、単純に戦後と現在を比較。その他写真を2枚追加
9	ちいさなくつのひとりごと	最後の詩を削除	対応済	
		感謝を要求しない	原案維持	生活科の内容として、感謝の気持ちを持つことが学習指導要領に定められているため。

2 第2回検討委員会後、大きく変更したもの

No.	タイトル	変更の趣旨
1	みんなのブランコ	道徳的価値が混乱していたので全体的に再構成